事例No.	147
公表年度	H28
団体の属性	一般市
団体名	福岡県糸島市

事例区分	第三セクター

タグ	・会社法法人

事例種類	経営健全化に取組んだ事例（経営改革に取組んだ事例（経常赤字から計上黒字への転換、債務超過の解消等）

事例内容・タイトル

温泉入浴施設における利用者数増加の取組

出典

第三セクター改革等先進事例集

事例名	温泉入浴施設における利用者数増加の取組
団体名	福岡県糸島市
法人名	(株)リフレッシュ二丈

＜地方公共団体のデータ＞※

人口(人)	100,112
標準財政規模(百万円)	20,354
財政力指数	0.53

※ 人口は、住民基本台帳に基づく人口(平成 28 年 1 月 1 日時点)
標準財政規模及び財政力指数は、平成 27 年度決算の数値

＜法人データ＞

[出資等の状況](平成 28 年 3 月 31 日時点)

糸島市	20(82.6%)
その他	4(17.4%)
役職員数(人)	11

[経営状況](平成 27 年度決算)

経常収益	108
経常損益	17
当期純損益	13

(単位:百万円)

資産	58
負債	20
純資産	38

[法人概要](設立目的、業務概要等)

(株)リフレッシュ二丈は、平成 15 年 3 月 1 日に旧二丈町が設置した健康ふれあい施設二丈温泉きららの湯の管理運営受託業務を行うために、旧二丈町、糸島農業協同組合、(株)福岡銀行の出資によって、平成 14 年 10 月 1 日に設立された。

二丈温泉きららの湯は、温浴施設、流水浴プール及び研修室などを設置した施設で、合併後(平成 22 年 1 月 1 日)、引き続き糸島市の健康ふれあい施設として設置しており、市の指定管理者として管理運営を行っている。





1. 本事例の概要(取組の内容、ポイント)

当該事例は、(株)リフレッシュ二丈の経営努力などにより累積赤字を解決した事例である。

具体的には、健康ふれあい施設として設置している「二丈温泉きららの湯」の管理を行ってきたが、入湯者数の減により赤字となり累積赤字が増えていくという課題が生じていた。

合併を契機に、毎年経営努力目標を掲げ、入湯者数の増加を図るため広告宣伝活動の強化、イベントの実施など様々な取組を行いながら、経費削減対策等にも努め、合併後の単年度収支は、毎年黒字を続け、平成 26 年度に累積赤字を解消した。

2．取組みの背景、理由、着手のきっかけ

設置後、2～3 年は、順調に入湯者が維持されていたが、徐々に減少し、加えて重油高騰などの経費の増加により、経営状況が悪くなった。平成 18 年度から平成 21 年度までは赤字が続き、平成 21 年度には累積赤字が 2,000 万円以上となった。

資本金等　（千円）

区分	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
株主資本	32,365	30,421	23,988	10,576	3,700	8,919
利益剰余金	8,165	6,221	▲212	▲13,624	▲20,500	▲15,281
当期変動額	984	▲1,944	▲6,433	▲13,412	▲6,876	5,219
配当金	484	484	363			
経常利益	2,233	▲1,276	▲5,870	▲13,210	▲6,684	5,404

利用者数　（人）

年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
入湯者	152,355	147,661	141,135	125,331	130,917	150,404

3．取組の具体的内容

(1)取組方針とその決定過程

年度ごとに目標、その具体的な取組の事業及び収支計画を立て、取り組んできたが、喫緊の最重要課題である累積赤字の解消を図るため、中期的な基本的方針として平成 26 年 6 月に、「きららの湯」運営基本方針を作成し、経営改善の取組強化を図った。

「きららの湯」運営基本方針を作成するに至った背景は、施設の規模・築年数経過等による入湯者数の減と経費増加による厳しい経営状況によるものである。

企業利益を上げるために、社員の帰属意識や経営感覚などの意識改革と事務・事業の改善や所掌事務の明確化など業務体制の見直しを行い、入湯者数増に向けた積極的な営業活動も行うこととした。

具体的な営業活動は、イベント情報誌等を活用した広告宣伝活動の強化、四季折々のイベントの開催、団体やテナントとの連携によるイベントなどの実施により入館者の増加を図った。

(2)取組の具体的な進め方

業務執行体制の再構築として、業務体制を見直し明確にした。管理職の勤務体系が異なっているため、意思疎通と連携ができるように事務及び業務体制を見直し、勤務時間の変更の検討を行った。また、組織体系図及び役職別所掌事務を明示し、社員の役割分担と責任を明らかにすることにより、経営感覚を高め、業務に精励する環境を整えた。

年度ごとの事業計画に、具体的に強化する取組を掲げ実施するとともに、お客様へ影響しないような内部経費の削減等にも努めた。

4．取組の効果

平成 26 年度は、対前年比で入湯者数が 107.2%、売上高が 107.7%、営業利益も 7,780 千円の増となり、数年間の取組により累積赤字を解消した。平成 27 年度の入湯者数は過去最高となり、16 万人を超え、売上高も前期を上回り、配当金が還元できた。

資本金等 （千円）

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
株主資本	13,374	17,475	18,322	25,743	38,106
利益剰余金	▲10,826	▲6,725	▲5,878	1,543	13,906
当期変動額	4,454	4,101	847	7,420	12,364
配当金					363
経常利益	4,638	4,285	1,041	7,604	17,367

利用者数 （人）

年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
入湯者	150,607	148,514	144,421	154,871	166,376

5．今後の課題（今後の方針、残された課題等）

糸島市は、健康ふれあい施設として設置している「二丈温泉きららの湯」を、平成 29 年 4 月 1 日に民営化することを決定しており、これにより、(株)リフレッシュ二丈も解散する予定である。

6．他団体の参考となり得る点（苦労した点、工夫した点、上手く進んだ理由、反省すべき点等）

リピーター客を増加させるための様々なイベントの実施、合併後の糸島観光ブームの好機を捉えた観光客へのアプローチ、高齢者サロンへの利用や健診受診者への割引券の配布等、市事業と連携した取組。

【イベント内容】

四季折々のイベント（こどもの日、敬老の日、バレンタインデー、ホワイトデー、新春大福引会、秋のミニ芸能祭）、テナントとの連携による入浴・食事セットなど十数回実施

【市事業との連携】 ＊市民の健康づくり、介護予防、交流の目的による

高齢者サロンの実施場所の提供、特定健診受診者への入湯料の割引券配布

＜参考＞地方公共団体の問合わせ先

担当課	糸島市健康づくり課	連絡先	092-332-2069